

# 会瀬 会瀬

会瀬学区 HP <http://www.net1.jway.ne.jp/com-ose06/>

## 第198号

発行責任者：柴田 和彦  
編集責任者：皆川 直司  
電話：会瀬交流センター  
0294-25-1577  
印刷：大成印刷㈱

# 平成27年 謹賀新年



昨年のおおせっ子サロンより

会瀬学区の皆様、明けましておめでとうござ  
います。  
ご家族共々、希望に満ちた新年を迎えられた  
ことと思います。皆様には常日頃から、学区コ  
ミュニティ活動に対しまして温かいご支援と  
ご協力に厚くお礼申し上げます。  
さて、昨今、人口減少社会を迎えることもや若  
者、また子育て中の親や高齢者をめぐって起き  
るいろいろな問題は地域、学校、職域、行政な  
どの個々の力では解決困難になっています。  
特に地域では、資源ゴミ回収時の当番、町内  
街灯料金の負担、市報広報紙の配布など地域住  
居人の高齢化や減少によって発生しています。  
又、1人暮らしの高齢者の「とじこもり」の防  
止には挨拶、呼びかけを積極的に行い人とひと  
とのかかわり合いを大切に「向こう三軒両  
隣り」をさらに発展させていきたいものです。  
郷土の伝統行事であります浜の焚きあげ祭  
や、おおせ浜太鼓の育成、おおせ秋祭り、会瀬  
青年会がおこなうおおせ夏まつりなど、世代交  
流を通して継承していきましょう。  
東日本大震災の教訓を忘れず、災害に強い安  
全、安心なコミュニティ推進に皆様のお力ぞい  
を宜しくお願い申し上げます。  
最後になりますが、本年も皆様にとって良い  
年であることを祈念申し上げ新年のご挨拶  
とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

会瀬学区コミュニティ推進会  
会長 柴田和彦

## \*\*お知らせ\*\*

### 第二十五回 「浜の焚きあげ祭」のご案内

地域の皆様のふれあいを深め、一人一人の健康と  
安全安心を願い、子どもたちの健全育成を祈る「浜の焚きあげ祭」も  
二十五回を迎えます。今回も会瀬小学校の理解と協力によりまして  
授業の一環とし全校生徒が参加した行事となりました。  
児童たちの健康と安全を考慮して昨年と同様時間を早めて計画  
しています冬の午後浜辺で子どもたちの元気な姿を見てください。  
高潮予防の土のうが大量に砂浜にありますので注意してください。

期日 平成二十七年一月十五日 木曜日

場所 会瀬青少年の家グラウンド

主催 会瀬学区コミュニティ推進会

協力 会瀬小学校・同P→A・子ども会育連合会・日立第四消防団

日程 小学生

午前中 普通授業 雨天の場合は不参加で普通事業

十三時四十分 会場到着 先生の指導で凧揚げ見学

十四時十五分 炊きあげ祭 開始

二十五分 点火 浜太鼓見学

十五時十分 通学班で自宅へ

地域の方々 十五時以降は大人の時間

一月十四日(水) 午前中に祭壇を作ります

正午以後に焚きあげる物をご持参ください。

焚きあげる物 しめかざり、門松、しめなわ、

飾り松、神社のお札、お守り、だるま等

その他正月の飾りもの、

書き初めの反古紙等。

交流会 甘酒、お茶、漬け物、

ジュース類は用意します。

酒類は各自ご持参下さい。

消火 十七時に消火します。

\*例年より早いのでご承知下さい。



会瀬交流センター  
年末年始休館日のお知らせ  
12月29日(月)から  
1月4日(日)まで  
年末年始休館日となります  
【問い合わせ】☎ 25-1577  
会瀬交流センター運営委員会



### 健康料理教室 参加者募集 ～減塩食で生活習慣病予防～ 会瀬地区食生活改善推進会

日時 平成27年1月14日(水)  
10時開始  
場所 会瀬交流センター(調理室)  
会費 ひとり200円  
持ち物 米(0.5合)みそ汁(100cc)塩分濃度調査  
エプロン  
内容 ・玉子トマト丼・かぼちゃのきんぴら・あさりのすまし汁  
募集人数 若干名  
申込み先 直接電話で会瀬交流センター  
☎25-1577  
【問い合わせ】会瀬地区食生活改善推進委員  
須田 恵 ☎ 22-3393

### 太陽光発電工事のため 会瀬交流センター 駐車場が使用できません

太陽光発電活用システム構築工事に伴い、  
下記日程にて会瀬交流センター駐車場が  
使用できません。  
利用者の皆さまにはご不便をおかけしますが  
臨時駐車場をご利用下さい。  
記  
工事期間：平成26年12月1日(月)～  
平成27年2月27日(金)予定  
臨時駐車場：会瀬海浜多目的広場駐車場  
(会瀬漁港入り口)  
問い合わせ：会瀬交流センター事務局 ☎25-1577

### おもちゃライブラリー 1・2・3月開催

金曜日  
9時30分～11時30分  
1月9日 2月7日 3月6日  
16日 14日 13日  
23日 21日 20日  
28日 28日 27日  
会瀬交流センター  
電話 25-1577

**ふるさと会瀬から 正月行事あれこれ**

「年の初めのためしとて終わりなき世のめでたさを松竹たてて 門ごとに 祝う今日こそたのしけれ」「一月一日」と名付けられた小学校祝日の式歌で、元日に登校した児童が式の中で歌った。帰りに紅白の餅をもらった年代は70後半か80代か。「もういくつ寝るとお正月 お正月には 凧あげて こまをまわして あそびましょう はやく来い来い お正月」明治時代に作られた言文一致の代表的な唱歌であり、今でも歌われている。

師走になると新しい年の神様（歳徳神としとくじん）を迎える準備が日本中で行われる習慣が定着している。神霊を迎えるため大掃除で家の内外をきれいにし、我が家の目じるしとして（依り代という）門松をたてる。（現在では輪飾りといって小さな松の枝に御幣をはさんだ小さな稲の輪を通した飾りを門松替わりとしている）。御幣や榊（さかき）も目印の一つである。

神に願いを込めた正月飾りを玄関先に下げておくが、願いは家内安全・五穀豊穡・大漁だが、時勢からか豊かな生活を渴望する小判などが付いているのが多い。神様が落ちて着く場所は神棚であり神の占有場所であるから縄を張って目印にした。それが注連縄（しめなわ）で標識の意味であることから輪注連・ごぼう注連・海老注連などがつかわれるようになった。

神体に代わるものとして鏡に見せた二段の鏡餅が神棚に供えられる。神の恵みに感謝してお供え物は神社では米・酒・餅・魚・鳥・海草・野菜・果実・塩・水などであるが一般家庭では酒・餅であろうか。大晦日もあわただしく過ぎ紅白歌合戦終了近くになると村の鎮守である会瀬鹿島神社へと初詣の人が続く。宮司の太鼓の音で神の降臨が告げられ鈴の音が境内に響く中に青年会の甘酒を振る舞う声も聞こえる。

初日の出を迎えようと若者たちが会瀬の浜に来る。雲がない水平線から日の出を見るのは年間を通して多くはないが今年はどうだろうか。家庭では一年の安寧を願ってか、最初の水（若水）を水道であっても汲み、お湯を沸かす。近頃は若水で風呂を沸かし家族みんなで朝ぶろを楽しむ家庭も多い。昔は年の神を迎えたので清潔な新しい衣類を身につけたものだった。物の無い時代には衣類を新しいものに変えるのは正月だったのだ。正月に新しい足袋が与えられた記憶がある。今でも元日の朝、親が改まった衣服を着用（例として父親がふだん着ない和服を着用）する家庭があるに違いない。

家族そろって新年のあいさつを交わし食事になるが、本来は神に供えた飲食物（神饌しんせん）を食する（直会なおい）ことで神と人が同じ酒を飲み、同じものを食べることである。朝から酒を飲むことが公然とできるのは正月だけである。お神酒を年の神と一緒に飲むのだから・・・山の幸海の幸をいっしょに煮て神体に似せた餅をいれた雑煮があるが、関西での丸餅は鏡餅からきているので納得する。関東や会瀬ではお供えする鏡餅以外は箱でもちをのぼし「のし餅」とし、後に切り餅とするから長方形の餅が普通である。

子どもにとっては、早くこいこいお正月であった。うまいものが食べられるし、お年玉（年賜）として金銭や物が入るし、学校は休みで遊べるから。遊びといっても期間限定の気がする。凧揚げ・コマ回し・羽根つき・毬つき・すごろく・カルタ・百人一首・トランプ・十二支あそび・福笑い等々。年の初めらしい遊びは家族みんなが笑う福わらいや、「邪気をはね（羽根）のける」という縁起をかついた羽根つきで江戸時代から女子に親しまれていた。

年の神が我が家にいるのは元日から15日間。1月15日は神を送る日。その日の朝に門松を外し、神を祭った飾り物も外しみんなで持ち寄り焼いた。民間では「どんどやき」と言い竹を数本立てその中で焼いた。竹が焼けて音を出すことから「どんどやき」と言われた。会瀬でも空き地で行われていたが火災の危険もあり、各家庭でつましく実施されていた。

都市化が進んだ結果、飾り物も縁起物もごみとして扱われるようになってしまった。25年前この事態を憂いた当時、会瀬市民運動推進会会長であった小室節雄氏の呼びかけで「浜の焚きあげ祭」が誕生した。25年継続し地域の行事として定着した結果、市の文化遺産として登録される運びになっている。

# おおせ秋まつり

平成26年10月19日（日）実施



**福祉功労者が顕彰されました**

◎日立市社会福祉協議会会長顕彰  
平成二十六年十一月五日、日立市社会福祉協議会の「ふくしのつどい」が、ゆうゆう十王Jホールに於いて開催され、多年にわたり地域福祉活動を実践されて、社会福祉の発展に寄与された功労者が顕彰されました。

会瀬学区からは、左記の三名の方々が顕彰されました。

●社会福祉活動協力援助者（在職十年以上）  
小澤 勝雄（野外環境整備活動）  
笠原トモ子（ふれあい配食サービス、ふれあい健康クラブ）  
松原 文江（ふれあい配食サービス、ふれあい健康クラブ、サロン活動）

※顕彰された三名の方々は、現在も引き続き会瀬学区の社会福祉活動を実践されております。

**第41回 日立地区ソフトボール大会**

期日：平成26年11月23日（日）  
場所：市立助川小学校グラウンド  
参加学区：助川・仲町・宮田・中小路・会瀬  
主催：日立体育振興会  
PIA中心に練習を行い見事  
ママさんチーム 優勝  
パパさんチーム 一回戦敗退



ママさんV2おめでとうございます！